

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

私たちの暮らしを守る税

学校法人開智学園 開智未来中学校

一年

野澤 優歌

私は身近な税の使われ方について調べてみました。税は国・県・市町村の財源で、道路・橋の建設、上下水道の整備、年金の支払、医療費負担の軽減、教科書の無料配布、火山の噴火や洪水、地震などの災害復旧などにも税が使われていることが分かりました。その中で私が一番興味を持ったのは、災害復旧における税の使われ方についてです。

私の住んでいる地域で、昨年七月に積乱雲から吹き下ろす強い気流が地表に衝突して起こる「ダウンバースト」という突風に被害を受けました。私の家は何も被害はなかったですが、私に通っていた小学校のフェンスが吹き飛ばされ、体育館の窓ガラスが割れるという被害を受けました。また、近所の神社の大木が倒れ、家の屋根瓦が飛ばされ、家が全壊の状態になるなど深刻な被害に遭いました。その翌日、登校したときに、その大きな被害を目の当たりにして、自然災害の脅威を体感するとともに恐怖を感じました。

この突風被害について、私が住んでいる町がどのような対応をしたのか、とても気になったので調べてみました。災害によって生じた廃棄物はおよそ二七〇〇トンあったそうです。また、廃棄物の処理にかかる費用について町が試算した結果、運搬委

託費などに一億四六〇〇万円に上ることが明らかになりました。復旧を急ぐ必要があるとの町の判断で、新たに予算を組んで早急に災害廃棄物処理について対応したことが分かりました。

さらに、住宅が被災した世帯へ、準半壊世帯に三万円、一部損壊世帯に一万円、見舞金として支給するための予算を組み、対応に当たったとのことでした。

私は、廃棄物を処理する費用が膨大にかかることを知り、大変驚きました。新たに予算を組むのは本当に大変だったと思います。しかし、早急に廃棄物処理を行ってしてくれたおかげで復旧が進み、一年経った今では完全に復旧しているので、税の大切さについて理解を深めています。

もし、税がなかった場合にこのような災害が起こったら、廃棄物を処理するのは被災者自身で行う必要があるのではないかと考えました。そうなたら、被災者自身で廃棄物の処理にかかる費用を工面するのが難しいと考えられるため、町中が廃棄物であふれかえってしまうことが推測できると思いました。また、早急な復旧が望めないことが明らかなので、税があることは、私達が安心して暮らしていくためにも必要不可欠な存在であると感じました。

私はこれまで税についてあまり考える機会がありませんでした。しかし、今回の作文で税について色々調べたことをきっかけとして、大変関心を持ちました。また、税が私達の安全・安心な暮らしを守ってくれていることを知り、これからも暮らしと関連づけて知識を深めていきたいと思えます。